

JIA 関東甲信越支部 交流委員会 新規入会企業紹介

■企業名称：ダイソン株式会社



■担当者：Professional 部 小山 禎子（こやま よしこ）

■企業概要：東京都千代田区麹町 1-12-1

部署代表電話：03-3238-8817

担当・小山メールアドレス：Yoshiko.koyama@dyson.com

■交流委員会 所属グループ：Fグループ

■企業紹介：

ダイソンは、シンガポール、イギリス、マレーシア、メキシコ、中国、フィリピンにエンジニアリング、研究、開発、製造、テスト事業を展開するグローバルなリサーチ、テクノロジー企業です。英国のコーチハウスからスタートしたダイソンは、1993年の創業以来、一貫して成長を続けています。現在では、シンガポールにグローバル本社機能を構え、英国では800エーカーを超えるマルムズベリーとハラピントンに2つのテクノロジーキャンパスを有しています。

ダイソンは、新たなテクノロジー研究開発に27億5,000万ポンド（約4,152億円*）の投資を実施しており、2022年には技術、施設、研究所に6億ポンド（約906億円*）を投資する予定です。ダイソンは、エンジニア、科学者、ソフトウェア開発者が集まるグローバルチームが全からなるグローバルチームを持ち、固体電池セル、高速電気デジタルモーター、センシングとビジョンシステム、ロボット工学、機械学習技術、A.I.投資などの開発に注力しています。1993年に最初のサイクロン式掃除機DC01を発明して以来、ダイソンはヘアケア、空気清浄機、ロボット工学、照明、ハンドドライヤーなど、問題を解決するさまざまなテクノロジーの開発を続けています。

■コメント： 会員様向け 一押し提案製品・水栓一体型ハンドドライヤー「エアブレード Wash+Dry」

1948年に世界初のハンドドライヤーが導入されて以降、ハンドドライヤーは少しの進化しかみせていません。「手をシンクで洗い、壁面に設置されているハンドドライヤーの場所まで移動し、手を乾かす」、その過程で、床に水滴が落ち不衛生になる上、滑りやすくなる恐れもあります。そして未だに多くの乾燥時間を要しています。

そして一方、ペーパータオルが現場で採用される場合には、1回きりの使用で廃棄するという観点、またそのCO2を大量に排出させる生産過程から廃棄工程までを含め、環境やサステナビリティにも配慮がなされていないのではないのでしょうか。

それら様々な問題を解決するため、ダイソンが革新的な手を乾かすテクノロジーを開発しました：それが**エアブレード Wash+Dry**です。水栓一体型のデザインで、シンクの中で手洗いから乾燥までを完結し、床の水滴も軽減。壁面設置が不要なため、空いたスペースも有効活用できます。手洗い後に再び、ハンドドライヤーの列に並ぶ必要がなく、化粧室の混雑緩和にも貢献します。さらに、HEPAフィルターを搭載し、清浄された風で手を乾かすことができ、昨今の新型コロナウイルスの影響で重要視されている、衛生的な手洗い対策としても使用できます。



皆さまのより良い設計提案活動に貢献できる製品ですので、ぜひお問合せいただければと存じます。